

関東信越厚生局第4回地域包括ケア事例研究会

神奈川県令和元年度第1回在宅医療・介護連携推進事業研修会 アンケート結果

テーマ:「在宅医療・介護連携推進事業」

日程:令和元年7月10日(水) 13時00分～16時45分

会場:万国橋会議センター 401会議室、402会議室

参加人数:86名(内訳:神奈川県内52名、県外23名、傍聴11名)

1. 本日の研修についてあてはまるところに○をご記入ください。また、その理由をご記入ください。

(1)地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業の実施について

①非常に参考になる	②参考になる	③参考にならなかった	④回答なし	合計
27	37	2	1	67

※自由記述 9本

○相談員の課題など悩みは皆同じと思いました。

○全体を把握する県としての見解・分析もあるとより参考になったと思います。県としてサポートできることを含めて…

○他の自治体の取り組みを聞く機会はあまりないので参考になります。

(2)講演 在宅医療・介護連携における診療報酬と介護報酬について

①非常に参考になる	②参考になる	③参考にならなかった	④回答なし	合計
28	37	2	0	67

※自由記述 25本

○診療報酬についてはずっと知りたいと思っていたので、詳しくお話を聞くことができよかったです。

○具体的診療報酬について知識が乏しかったのでとても興味深く聞くことができました。

○もっと聞きたかった、政策考えるのに大切なことなので。

(3)講演 地域包括ケア病棟について

①非常に参考になる	②参考になる	③参考にならなかった	④回答なし	合計
45	21	0	1	67

※自由記述 23本

○ここまで現場等を踏まえてご理解されている先生はいないと思います。非常に貴重な存在です。

○地域包括ケア病棟の詳細がわかったが、在宅医療の「とりで」にならず、在宅で看取りを含め本人の意向に沿った生活ができる仕組み作りのひとつになるとよいと感じる。

○うっすらぼんやりしていた地域包括ケア病棟についてよくわかった。

1. 本日の研修についてあてはまるところに○をご記入ください。また、その理由をご記入ください。

(4)グループによる意見交換・発表について

①非常に参考になる	②参考になる	③参考にならなかった	④回答なし	合計
39	28	0	0	67

※自由記述 20本

○同規模自治体でのグループワークだったので共有しやすかった。県外の参加があり、視点の違う意見も聞けた。

○市町村レベルでこの事業を進めていく困難さもある中、なんとか医師会などを巻き込んで取り組んでいく様子がわかり参考となりました。

○地域ごとに取り組みの課題・工夫が聞けるのは参考になる。

2. 今後、在宅医療・介護連携推進事業研修について希望することがありましたら、ご記入ください。

※自由記述 18本

○地域の担い手の育成(職能団体etc)人材不足対策。

○システムのエリアやエリア間のクロスオーバーをどう考えるか。自治体単位・広域単位・県単位・国単位の整理課題について。

○診療報酬のしくみについてわかりやすく。

3. 本日の研修会についてのご意見や今後在宅医療・介護連携推進事業について国や県に支援を希望することなどがありましたらご記入ください。

※自由記述 19本

○県単位、国単位での医介連携のツール、ACPツールを作成していただきたいです(PDFで各自治体が自由にダウンロードできる様式)。

○広域での医療介護連携のツールづくりがあると良いと思います。患者さんは市・医療圏単位では病院を選ばれないため、市町村・医療圏単位のルールで対応しきれないことが予測されます。

○ICTについて、病院や介護も県・都・市区町村をまたいでの連携が多くなるので、国で統一のシステムを入れて欲しい。市レベルではEHRにしても医介の連携ツールも決め兼ねる。

4. その他、全体についてご意見、ご感想をお願いします。

※自由記述 14本

○他県の方が参加する研修は情報がいろいろ得られてよかったです。

○ぜひ、このような研修を続けてもらいたい。神奈川県内でもこの事業が向上できるように進めていきたい。

○医介連携はとても幅が広いので、こういった機会が繰り返しあると良いかと思います。次は山梨で実施していただくとありがたいです。